

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
IGL医療福祉専門学校	平成13年3月30日	野村 敏之	〒731-3164 広島市安佐南区伴東一丁目12番18号 (電話) 082-849-5001				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人IGL学園	昭和49年3月27日	永見 憲吾	〒731-0154 広島市安佐南区上安六丁目31番1号□ (電話) 082-830-3399				
目的	はり師、きゅう師に関する専門的知識・技能を習得させ、企業等の要望を十分に理解し、実践的な職業教育を目指し指導に努める。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療専門課程	鍼灸学科	平成16年文部科学省告示第17号	無			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
	3年	昼間	2414	1408	286	720	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
90人	48人	5人	12人	17人			
学期制度	■1学期:4月1日～9月30日 ■2学期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験の成績で評価。100点満点で評価し、60点以上をもって単位が認定される。成績評価の表示は、優(80点)良(70点以上～80点未満)可(60点以上～70点未満)不可(60点未満)			
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:8月1日～8月31日 ■冬季:12月24日～翌年1月6日 ■春季:3月21日～4月7日 ■学年末:3月31日		卒業・進級条件	進級要件 当該年次において開設している全科目についての単位が認定され、かつ学納金が納入期日までに納入されていること 卒業要件 卒業に必要な全科目の単位を修得し、かつ学納金が納入期日までに納入されていること			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 長期欠席となる前に事情の聴取、確認の面談を行い、早期出席を促す。		課外活動	■課外活動の種類 鍼灸学術大会研究発表 マラソン大会救護 ■サークル活動: 有			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 鍼灸院・鍼灸整骨院・病院・診療所		主な資格・検定等	はり師・きゅう師国家試験受験資格 専門士			
	■就職率 ^{※1} : 100%						
	■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 92.3%						
	■その他						
(平成 27 年度卒業者に関する平成28年5月1日 時点の情報)							

中途退学の現状	■中途退学者 3名 平成27年4月1日 在学者 47名 (平成27年4月1日 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 44名 (平成28年3月31日 卒業者を含む)	■中退率 6.3%
	■中途退学の主な理由 進路変更	
	■中退防止のための取組 担任制をとり、欠席、遅刻、早退が増えた学生に面談を行う。病気などで欠席が続く学生には保護者との連携を密にし個別指導に努める。また、成績不良に対しては、早い段階で勉強会を実施し、自立して勉強ができるように指導し成績不良での退学の防止に取組んでいる。	
ホームページ	http://www.igl.ac.jp/	

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

特化した分野で鍼灸施術を行っている企業・団体等と連携し、教育課程を編成する上で意見を十分に活用し専門的な職業教育を実施することを基本方針とする。授業内容の改善や見直しを行うことで最新の情報を学生に教授できるようにする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年3月1日現在

名前	所属
丸木 直也	公益社団法人広島県鍼灸師会 副会長
岡峰 勝広	株式会社さくらモンデックス安佐南院 院長
加藤 弘幸	公益社団法人広島県柔道整復師会 総務部長
西田 和明	医療法人齊和會 広島クリニック 経理部長
藤井 紀子	公益社団法人広島市老人福祉施設連盟 会長
松林 克典	社会福祉法人正仁会 特別養護老人ホームなごみの郷 施設長
浮田 瑞穂	一般社団法人広島県歯科衛生士会 副会長
上間 京子	Jokanスクール 校長
野村 敏之	IGL医療福祉専門学校 校長
賀川 一樹	IGL医療福祉専門学校 教務部長兼柔整学科学科長
尾野 龍一	IGL医療福祉専門学校 教務副部長
森 美香	IGL医療福祉専門学校 介護福祉学科 学科長
南 一成	IGL医療福祉専門学校 鍼灸学科 学科長
今井 康夫	IGL医療福祉専門学校 口腔保健学科 学科長

(開催日時)

第1回 平成28年6月26日(日) 11:00~12:00

第2回 平成28年9月11日(日) 16:30~17:30

教育課程編成委員小委員会 平成28年6月26日(日) 12:00~13:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

鍼灸臨床の現場で、患者に対する治療の見学及び鍼灸施術を通じて、授業で習得した知識を広く応用し、医療専門職従事者としての態度や習慣を身につける。

科目名	科目概要	連携企業等
臨床実習	鍼灸臨床の現場において見学、医療面接、病態把握、治療のサポート、鍼灸施術、カルテの記載等を行う。また、老人保健施設内にある治療院を見学し実践的に学習をする。	(株)エーデルワイスIGL鍼灸マッサージ治療院

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教員は鍼灸治療の実務に関する研修と、はり師・きゅう師の養成学校の教員としての自己の知識及び技術を向上させるために研修に参加し、日々研鑽するとともに原則として年1回以上の研修会に参加する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成29年3月1日現在

名 前	所 属
岡峰 勝広	株式会社さくらモンデックス安佐南院 院長
西田 和明	医療法人齊和會 廣島クリニック 経理部長
松林 克典	社会福祉法人正仁会 特別養護老人ホームなごみの郷 施設長
上間 京子	Jokanスクール 校長
中玉 基	学校法人広陵学園 広陵高等学校 校長
山根 弘	IGL医療福祉専門学校同窓会 会長

(学校関係者評価結果の公表方法)

インターネット(学校ホームページ)

[URL:http://www.igl.ac.jp/](http://www.igl.ac.jp/)

5. 情報提供

(情報提供の方法)

インターネット(学校ホームページ)

[URL:http://www.igl.ac.jp/](http://www.igl.ac.jp/)

授業科目等の概要

(医療専門課程鍼灸学科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			薬理学	頻繁に用いられている薬物について具体的な種類、特徴、副作用などについて基礎的な知識を学ぶとともに、薬物についての常識的な考え方を身に付ける。	2前	34	2	○			○			○	
○			英語	医療分野の職場におけるマナーとホスピタリティを英語を通して学ぶ。	1前	34	2	○			○			○	
○			情報学	ビジネスソフトWordとExcelを使用して、文書作成やデータ管理といった情報活用の技術を身に付ける。	2後	34	2		○		○			○	
○			経営学	治療院を開業し、経営していくために必要な知識を学ぶとともに、継続的な経営を行うために実践していくべき能力の習得を目指す。	2前	34	2	○			○			○	
○			臨床心理学	治療者が施術効果を一層高めるために必要な人間理解の基本を体得することを目標とする。	1前	34	2	○			○			○	
○			人間学	人生の各発達段階に応じた生活課題を克服する手がかりをみつけることを目標とする。	1後	34	2	○			○			○	
○			栄養学	食品に含まれる栄養素の化学、それを受け入れる生体側の生理、疾病とのかかわりなどを総合的に学ぶ。	2前	34	2	○			○			○	
○			解剖学	医療技術の修得を志すものにとって、必要不可欠な人体の構成、運動器系、神経系について学ぶ。	1通	136	6	○			○			○	
○			解剖生理学Ⅰ	人体の構成、消化器系、泌尿器系、生殖器系について解剖と生理の両面から学ぶ。	1通	60	2	○			○			○	
○			解剖生理学Ⅱ	生理学の基礎、血液、呼吸器系。内分泌系について解剖と生理の両面から学ぶ。	1前	60	2	○			○			○	
○			解剖生理学Ⅲ	循環器系、神経、内臓の自律神経性調節、筋、運動、感覚、感覚器系について解剖と生理の両面から学ぶ。	1後	60	2	○			○			○	

授業科目等の概要

(医療専門課程鍼灸学科) 平成28年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
○			運動学	人間の運動にかかわる身体の機能と構造について、基本的な知識を身につけることを目標に、運動時の解剖的、生理的メカニズムを学ぶ。	2後	30	1	○			○			○		
○			病理学概論	病気の種類、原因、成り立つ機序や経過、転帰といった一連の過程について、全身の臓器・組織に通じる基本的原則を生体構造の形態的变化を中心に学ぶ。	3通	66	3	○			○				○	
○			衛生学・公衆衛生学	健康を守ることを自分自身の問題としてとらえ、その考えを他の多くの人たち(社会全体)に当てはめて考えていくことができることを目標に学ぶ。	3通	66	3	○			○			○		
○			臨床医学総論	鍼灸師として必要な総合的な医療知識を習得し、臨床において適格な病能把握ができるよう学ぶ。	2通	60	2	○			○			○		
○			臨床医学各論Ⅰ	消化器疾患、肝胆膵疾患、呼吸器疾患、腎尿路疾患、内分泌疾患、代謝、栄養疾患、循環器疾患、血液・造血疾患、神経疾患などについて西洋医学の面から学ぶ。	2通	120	4	○			○				○	
○			臨床医学各論Ⅱ	整形外科疾患を中心に西洋医学の面から、症状、基本的な診断法、治療法の概略を学ぶ。	2前	30	1	○			○			○		
○			リハビリテーション医学	リハビリテーション医学の概略、考え方、障害治療の位置づけと意義を理解し、各疾患の診断や、治療の進め方について学ぶ。	3前	30	1	○			○				○	
○			医療概論	医療・社会保障制度の特色と現在の問題点などを社会的・歴史的背景を踏まえながらとらえ、医療の実践において重要な倫理的概念を学ぶ。	3後	22	1	○			○			○		
○			関係法規	はり師・きゅう師として必要な免許に関する事項、施術所の開設、業務などについて、法律の知識の定着を目指すとともに、施術時に気を付けるべき法律問題を学ぶ。	3前	30	1	○			○				○	
○			東洋医学概論Ⅰ	東洋医学の基本的な考え方や知識を習得し、東洋医学的な病能把握や治療ができる力を身に付けることを目標に学修する。	1通	60	2	○			○			○		

授業科目等の概要

(医療専門課程鍼灸学科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			経絡経穴概論 I	鍼灸を学ぶ上で、基礎となる経絡、経穴の名前、順番、取穴法、要穴を学ぶ。	1通	60	2	○			○	○			
○			はりきゅう理論	鍼灸の種々の方式及び術式や、鍼灸刺激によって生じる種々の生体反応の機序を科学的に学ぶ。	2通	68	3	○			○	○			
○			東洋医学臨床論 I	診察情報をもとに、鍼灸治療の適・不適を判断し適切な鍼灸治療が行えるよう、主に整形外科疾患を中心に現代的な考えと東洋医学的な考えを学ぶ。国家試験対策も合わせて行う。	2通	60	2	○			○	○			
○			東洋医学臨床論 II	診察情報をもとに、鍼灸治療の適・不適を判断し適切な鍼灸治療が行えるよう、主に内科的疾患に対する現代的な考えと東洋医学的な考えを学ぶ。国家試験対策も合わせて行う。	3通	66	3	○			○	○			
○			東洋医学概論 II	東洋医学概論 I で学んだ東洋医学の基本的考え方の定着を図るとともに、東洋医学的な病能把握や治療をするための基礎を学ぶ。	2前	30	1	○			○	○			
○			症候診断学	東洋医学概論 I で学んだ東洋医学の基本的考え方を活用し、患者の症状から病能を東洋医学的に把握し、治療方針をたてることができるよう学ぶ。	2通	68	2	○		△	○	○			
○			経絡経穴概論 II	経絡経穴概論 I で学んだ経穴を、人体で正確に取穴できるよう実習を行う。	1通	68	2			○	○	○			
○			社会はりきゅう学 I	現代社会における鍼灸治療の現状と課題を踏まえ、鍼灸師の果たすべき役割について学ぶ。特に、スポーツ傷害に対応できる知識、技能の習得を目指す。	3前	30	1	○			○	○			
○			社会はりきゅう学 II	現代社会における鍼灸治療の現状と課題を踏まえ、鍼灸師の果たすべき役割について学ぶ。特に、高齢者に対応できる知識、技能の習得を目指す。	3後	30	1	○			○	○			
○			鍼灸基礎実習 I	鍼灸実技に関する基本的な知識、技術を修得するとともに、鍼灸の臨床家としての態度や礼儀を身に付ける。	1通	136	4			○	○		○		

授業科目等の概要

(医療専門課程鍼灸学科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			鍼灸基礎実習Ⅱ	灸実技に関する基本的な知識、技術を修得するとともに、鍼灸の臨床家としての態度や礼儀を身に付ける。	1通	68	2			○	○		○		
○			鍼灸応用実習Ⅰ	鍼灸基礎実習Ⅰ・Ⅱで修得下基礎実技を応用し、東洋医学臨床論Ⅰで学んだ処方例や検査法実践し修得する。	2通	135	3			○	○		○		
○			鍼灸応用実習Ⅱ	中国鍼、小児鍼、美容鍼、円皮鍼、皮内鍼、灸頭鍼などの特殊鍼法の基本的知識と技術を修得する。	2前	34	1			○	○		○		
○			社会はりきゅう学実習	スポーツ傷害、高齢者に多い疾患に対する鍼灸治療を学ぶ。	3通	66	2			○	○		○		
○			徒手検査法	各徒手検査法の目的と意義を理解し、臨床で役立てるよう技術を修得する。	3前	34	1			○	○		○		
○			鍼灸各種療法	様々な治療法を学ぶことで、偏った知識、技術ではなく、幅広い視野で鍼灸業界を見ていく目を養う。	3通	66	2			○	○			○	
○			臨床実習	実際の鍼灸臨床の現場において見学、医療面接、病能把握、治療のサポート、鍼灸施術、カルテの記載等を行う。また、老人保健施設内にある治療院を見学する。	3通	45	1			○	○	○	○		○
○			総合演習Ⅰ	1・2年次に修得した、経絡経穴、東洋医学概論、はりきゅう理論の理解を深めるため、国家試験の練習問題を中心に演習を行う。	3後	60	2			○	○		○		
○			総合演習Ⅱ	1年次に修得した、解剖学の理解を深めるため、国家試験の練習問題を中心に演習を行う。	3通	60	2			○	○		○		
○			総合演習Ⅲ	1年次に修得した、生理学の理解を深めるため、国家試験の練習問題を中心に演習を行う。	3通	66	3			○	○		○		
○			総合演習Ⅳ	2年次に修得した、臨床医学総論、臨床医学各論の理解を深めるため、国家試験の練習問題を中心に演習を行う。	3通	66	3			○	○			○	

授業科目等の概要

(医療専門課程鍼灸学科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			医療面接	医療面接についての基礎的な知識を十分に理解した上で、ロールプレイを行い臨床実習や臨床現場で通用する技術を身に付ける。	2後	30	1	○			○		○		
合計						43 科目	2414単位時間(89単位)					

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
所定の修業年限以上在籍し、学則に定める授業科目を履修のうえ、全科目の単位を修得する。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	17週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。